

ある観光客

「災害時の避難先と言えば
小学校だろうから、私は
右上にある小学校に行くわ」

1

ある観光客

「地図で見るとなんだか周りが
開けていそうだから、私は左下
にある安敦寺に向かいます」

2

ある観光客

「こんな時に土地勘がない町を
むやみに動き回るのは危ない。
私は米塩広場に留まります」



3

ある観光客

「神社は災害に強い場所にあると
いう説があるから、わしは右下の
浜一里神社に行こうと思う」

4

ある観光客

「町の職員がいて情報も人も集
まってくるはずだから、僕は左上
にある町役場に行ってみるよ」

5

ある観光客

「地域に詳しい地元住民の
意見に従っていけば安心だ」

6

旅行情報誌 まっぴろ

コラム

今でも旧市街には時計台
を超えるような2階建て
以上の建物は無い…。

7

近所に住む女性2人

「安敦寺は鎮めの寺だって聞いた
ことあるけど…」



「川のほとりで
何を鎮めてるの
かしら？」

8

近所に住む女性2人

「津波なら高い場所へ逃げるしか
ないけど…」



「1年前の
大津波警報でも
何もなかったわ」

9

通りすがりの地元男性

「ここは海からは離れているので、
余震が収まるまで広場にいた方が
安全ですよ」

10

てしおかわ
手塩川はどっちに向かって
なが
流れているんだろう？
なが
流れの先に海があるはず…

11

じたく で じよせい
自宅から出てきた女性

はまいちりじんじや
「浜一里神社はこんもり
ちい やま
した小さな山なんだけど
すうねんまえ さんどう う
数年前に参道が埋まる
どしゃくす
土砂崩れがあったのよ」



12

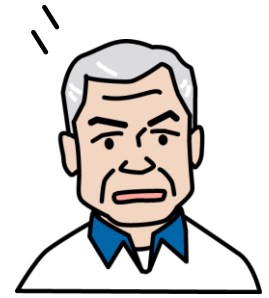
こめしおひろば
米塩広場には
つなみ く
津波が来ると
い じもとじゅうみん
言う地元住民が
だれ
誰もいないのは、
なぜ？



13

じもと こうれいだんせい
地元の高齢男性

「わしはこのまち
う そだ
生まれ育ったが、
つなみ いちど
津波なんか一度も
き
来たことはない」



14

じもと こうれいだんせい
地元の高齢男性

よしん つづ なか やま い
「余震が続く中で山に行って
どしゃくす ま こ
土砂崩れに巻き込まれたら、
あんた、せきにんと
責任取れるのかい？」

15

ひろば とお みわた たてもの
広場から通りを見渡しても、建物が
たお
バタバタ倒れているようには見えな
い、よしん ちい とお
が、余震もあるから小さな通りに
はい あぶ
入るのは危ないだろう。

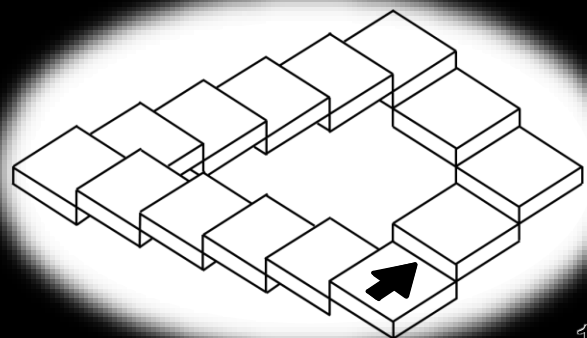
16

じたく で じよせい
自宅から出てきた女性

あんとし
「安敦寺は
こめしおひろば
米塩広場より
メートル たか
4mは高いわ」



17



18

こめしおひろば たろうきねんかん
米塩広場から太郎記念館がある
ほうこう み とお とお
方向を見ると、遠くの通りを
こ たち れつ ひだり みぎ
子ども達の列が左から右へ
いどう
移動していくのが見えた。

19

くるま
車いすのおばあさんと、
くるま お ろうふうふ
車いすを押しおじいさんの老夫婦
かんこうきやく
観光客が、おろおろしている。
こうどう とお あんしん
…行動を共にすれば安心するし、
こうたい くるま お
交代で車いすを押しあげられる。

20

ひとりたび じょせい お かわら
一人旅の女性が、落ちてきた瓦
うで お な さげ
で腕を折って泣き叫んでいる。
うで い なに こてい
腕とは言え何かで固定してあげ
ないと痛くて動けないだろう。

21

りんじきゅうかん れきしかん わ
臨時休館している歴史館の割れた
まど けむり で
窓から煙が出ているのが見える。
いま かんたん しょうか
今なら、まだ簡単に消火できそう…

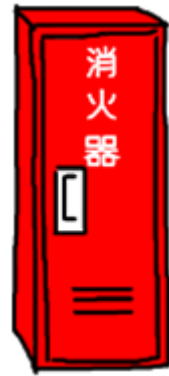
22

ポルトガル人のマルチナさんは、
お土産に手ぬぐいセット（5枚組）
を買ったところだった。

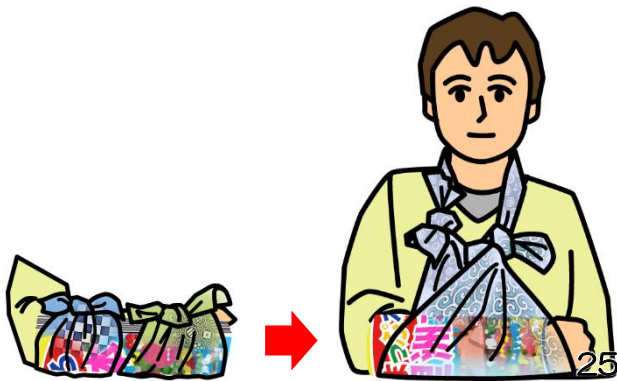


23

こめしおひろば よすみ
米塩広場の四隅に
しょうかき お
消火器が置かれて
いるのが見える。



24



25

- ティッピングレバーを踏み込み、
ハンドルを押し下げる
- 前輪を段差に乗せ、
後輪を段差にくっつける
- ハンドルをしっかりと握り、
後ろからお

26

- 添え物を腕に巻く
- 2枚の布で添え物を固定する
- 2枚の布を結んで輪にし、
首から腕を吊る

27



28

段差を
超えるコツ



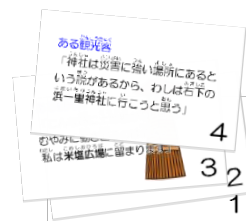
ティッピングレバー

29

- 安全栓を抜く
- ノズルを持ち、対象物に向ける
- レバーを強く握る

30

※1が下になるように番号順に重ねてから、
裏向きにしてトランプを配る要領で一枚ずつ全て配ってください。



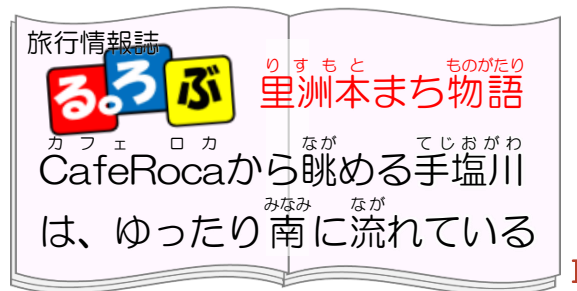
対処完了カード

課題2の

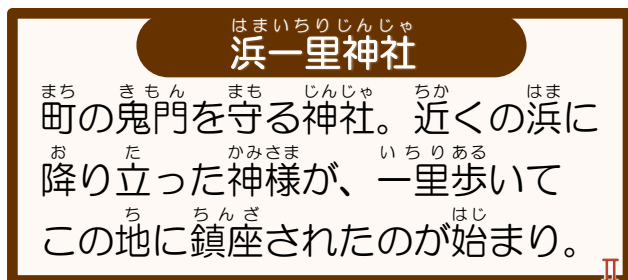
状況Ⅰを完成させればⅠのカードを、
状況Ⅱを完成させればⅡのカードを
状況Ⅲを完成させればⅢのカードを渡します。



たす じよせい ざっし み
助けた女性が雑誌を見せてくれた。



れきしかん かんこうあんないばん み
歴史館の観光案内板を見つけた。



ろうふうふかんこうきゃく かいわ き
老夫婦観光客の会話が聞こえてきた。

はたごやりすもと
「旅籠屋里洲本から、びいどろ
はくぶつかん くだ さか くるま
博物館へは下り坂で、車いす
だと少し怖かったのう」
すこ こわ
「そうでしたねえ」



通常版の情報カードを短縮版で使用する際は、20番～30番のカードを取り除き、
代わりに対処完了カード3枚を加えて実施してください。

ダイレクトロード「初めての町」

1 状況設定

ここは、赤茶色の瓦屋根が連なる美しい町です。あなたは町を訪れた観光客で、たった今、中央にある米塩広場に到着したところです。

突然、スマホの緊急地震速報が鳴り響き、激しく長い揺れに襲われました。幸い、あなたは怪我をせずに済みましたが、これから土地勘のない町で、どうすれば良いのか分かりません。手元には旅行者向けの簡単な地図が一枚あるだけです…。

2 課題

1. 米塩広場内の助けが必要な状況を把握します。そして、それらの状況に手を差し伸べて対処するかしないか決めます。
2. 対処すると決めた状況について、その仕方をまとめます。対処しない状況には何もせずに構いません。
3. 避難先となる候補を列挙し、それぞれの安心材料・懸念材料を書き出します。
4. 自分たちが避難する場所を選びます。

3 ルール

1. 自分のカードは他の人に見せてはいけません。
2. カードの内容は全て言葉にして口頭で伝え合ってください。
3. 分かった情報を地図と課題シートに書き込みながら進めてください。

里洲本旧市街 観光MAP

● コンビニ

● 町役場

● 郵便局

手塩川

● 銀行

● 安敦寺

● 手塩茶屋

● 呂塩公園

和洋折衷の町並みを抜けば
楽しい発見が待っています。
お店をめぐって、懐かしくも
新しい景色を探してみてくださいね。

● 甘味処
なざれ

● 真虎商店

● コパン

● 莉梅蘭
花市場

● カステラ堂

● ぱってら屋

● しゃぼん

● ベレンの塔
マント
資料館

● 帯斗ストア

● 蹴鞠
倶楽部

● 旧勸業館

● かるめら亭

● 三六寺

● ケルス
珈琲館

● セレソ
● ぼろろ庵

● 有葉兄弟社

● 有葉

● 権三郎商店

● 歴史館

● 米塩広場

● 時計台

● 金平糖

● 旧公会堂

● 黄茄子茶房

● コンビニ

● 三日月骨董店

● 浜半里神社

● チャルメ
楽器館

● Kappa

● パダリニア

● 太郎記念館

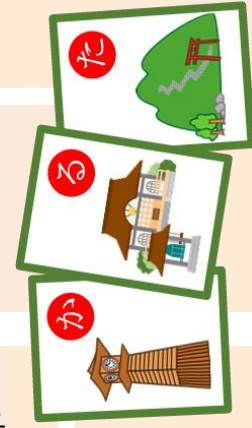
● かるた屋

● 喫茶Bena

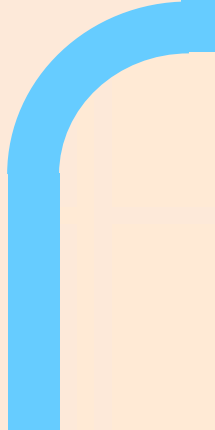
● ビスケット工場

● キタンダ

旅籠屋
里洲本



● CafeFoca



● 浜一里神社

課題 1

米塩広場内の助けが必要な状況を把握し、それらの状況に手を差し伸べるかどうか決めます。

	状況Ⅰ（1人）	状況Ⅱ（事案）	状況Ⅲ（2人）
なにか			
どうなっている			
対処する⇒○ しない⇒×	○	○	○

課題 2

対処する状況について、その仕方をまとめます。対処しない状況には何もしなくて構いません。

	と	使い方	コツ
必要なのは			
どうする			
手順			
STEP 1			
STEP 2			
STEP 3			

赤枠ごとに全ての項目を書き込めたら、「対処完了カード」を入手してください。



警報

課題3

避難先となる候補を列挙し、それぞれ安心材料・懸念材料を書き出します。

1	安心	
	懸念	
2	安心	
	懸念	
3	安心	
	懸念	
4	安心	
	懸念	
5	安心	
	懸念	

課題4

避難先を選びます。

選んだ人の名前

	人数	人
		人
		人
		人
		人

選んだ避難先で、結末を確認してください。